

# 「皆で楽しむ・もてなす佐久の味」開発・普及事業

佐久地方事務所

## 1 提案背景等

おいしい信州ふーど（風土）～佐久の味～

プレミアム

- 原産地呼称管理制度  
米、日本酒、  
シードル ..

オリジナル

- 全国シェア上位  
レタス、ハクサイ ..
- 県オリジナル品種  
サンプルーン、  
信州サーモン ..

ヘリテイジ

- 伝統野菜  
ひしの南蛮、そら南蛮、  
古代きゅうり
- 郷土食、伝統食  
鯉料理、おにかけ..

大勢に食べてもらいたいね!

皆で食べよう!!

- ・レシピ集の作成(～H24)  
(管内各市町村等)  
<例>  
「母から子へ孫へ伝える佐久  
の味」(佐久市農村生活マスターの会)  
元気づくり支援金活用
- ・料理講習会の開催(H25～)
- ・学校給食への食材供給

これからも地域で活動の輪を  
拡げていこう!



もっと美味しい食べ方はあるかな?

皆に勧めよう!!

- ・「おいしい信州ふーど」メニュー  
取扱店が増えたらいいね。
- ・さらにおいしく食べる方法はない  
かな。



うま  
「美味さ際立つ佐久の  
新しい味」開発事業  
(1,000千円)

- ・「佐久の美味ダレ」(仮称)  
ドレッシングの開発
- ・さらに ジャム、ソース等  
へも

都会の人に知ってもらいたいね!

皆に自慢しよう!!

- ・佐久に来たらおいしい佐久の  
味を堪能してもらいたいね。
- ・旅館等で佐久の味のフルコー  
スを提供できればいいね。



「佐久の味 おもてなし  
料理」開発事業  
(1,250千円)

- ・「佐久御膳」(仮称)  
和食会席の開発
- ・そして 洋風、中華等  
へも

- ・佐久にはこんなに美味しい食材と料理があるんだよ。
- ・毎日食べているから**健康長寿の里**と言われるんだ。

- ・佐久に行ったらこんなに美味しいものがあったよ。
- ・ぜひ、**佐久に行って食べてごらん**。

自信と誇りで「おいしい信州ふーど(風土)～佐久の味～」を発信

「輝く個性と地域のか 交流で未来を拓く信州佐久」の實現  
(しあわせ信州創造プラン佐久地域編)

## 2 施策概要

### ○ <sup>うま</sup>美味さ際立つ「佐久の新しい味」開発事業

#### 【事業の趣旨】

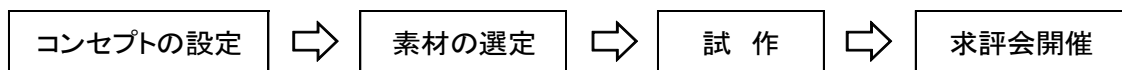
佐久地域の美味しい<sup>おい</sup>食材をさらに美味しく<sup>おい</sup>味わうための新たな「味」の開発

#### 【事業内容】

##### ① 研究会の発足

[メンバー] 調理師会、商工会連合会、農村女性ネットワーク、アドバイザー、郷土食研究家、地方事務所(農政課、商工観光課)、農業改良普及センター 等

##### ② 新しい味の開発



※H26年度は「佐久の美味<sup>うま</sup>ダレ」(ドレッシング)を6品開発。翌年以降はさらにジャム、ソースなども…

##### ③ ネーミング、統一容器、ラベル等の検討

##### ④ お披露目会開催

##### ⑤ 取扱い店舗の登録、PR

##### ⑥ 基本レシピを公開し、家庭・飲食店でのアレンジレシピコンクールの開催

#### 【事業費】

1,000千円 (謝金、食材費、会場費、販売促進経費 等)

### ○ 「佐久の味 おもてなし料理」開発事業

#### 【事業の趣旨】

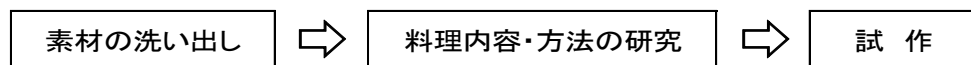
佐久地域で生産、加工されている食材を活かし、訪れる方に世界で唯一無二の料理を提供

#### 【事業内容】

##### ① 研究会の発足

[メンバー] 旅館・ホテル・料亭等の経営者及び料理長、コーディネーター、文化考証家、地方事務所(農政課、商工観光課)、農業改良普及センター、水産試験場 等

##### ② おもてなし料理の開発



※H26年度は和食メニューの「御膳」を開発。お品書きの中から選択しての活用も可能とする。翌年度以降は洋風、中華風も…

##### ③ ネーミング、器、盛り付け方、PR方法等のトータルコーディネート

##### ④ お披露目会開催

##### ⑤ 研究会メンバー施設での常時提供

#### 【事業費】

1,250千円 (謝金、食材費、会場費、販売促進経費 等)

# チップ材のエネルギー利用によるカラマツ林業の再生

佐久地方事務所

## 1 提案背景

### > カラマツは保育から生産へ

- 供給体制を充実・・・ 2020年の国産材率50%を目標
  - ⇒ A材(建築材)、B材(合板・土木用材)、C材(製紙チップ材) ともに生産量が増加していく

### > チップ需要が低迷

- 建材、合板・土木用材・・・ 需要堅調
- 製紙用チップ・・・ 需要低迷  
(輸入チップでのサプライチェーン構築済、ICT化による紙需要の縮小)
- ⇒ チップ用材のダブツキによりA、B材の生産にも悪影響



林業全体の底上げを図るためにはチップ材の需要開拓が必須

さらに、

#### 佐久の地域特性

- ・ 特産のカラマツは低水分で燃料に最適
- ・ 佐久の乾燥気候がチップ材の低水分化に有効
- ・ 製紙チップ工場が他地域に比べ多い

#### 地球環境への考慮

- ・ 化石燃料に依存した熱源からの脱却が必要



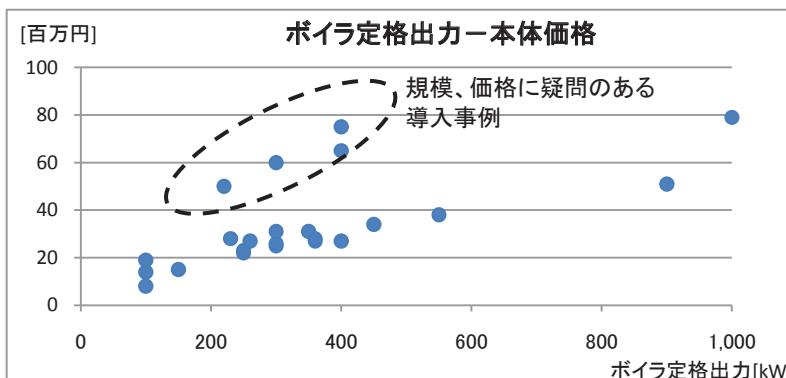
◎大型施設における化石燃料の代替燃料としてカラマツチップ材が有効

◆設備導入経費への補助制度[森のエネルギー推進事業(補助率1/2)]は導入済み

しかしながら……

木材チップボイラの導入が進まないのは？  
⇒ **温熱施設事業者の知識・経験不足が要因!**

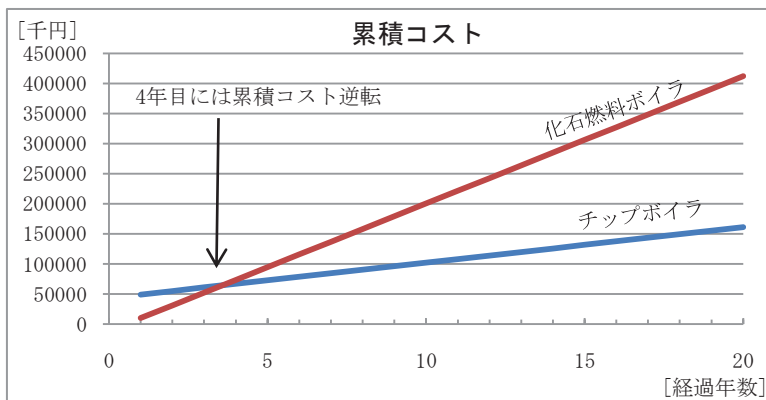
### ★チップボイラ導入には高い専門性が必要



- ・ 熱需用の特性把握
- ・ 熱需用の変動把握
  - ⇒ システムの最適化
- ・ 高額な初期投資
  - ⇒ 適正な発注仕様書作成

〔出典:「木質バイオマスボイラー導入・運用にかかわる実務テキスト」〕

## ★高額な初期投資も数年で回収可能



- ・ 安定需要
- ・ 燃料費削減
- ・ 地域経済への貢献
- ・ CO<sub>2</sub>排出削減

左図: 264,400ℓ/年灯油を燃焼している施設の事業性調査を行い、300kW級のバイオマスボイラを検討した例  
 初期投資(補助金なし): チップボイラ4,915万円、化石燃料ボイラ1,000万円  
 燃料単価: チップ16,000円/t、灯油80円/ℓ

## 2 施策概要

- 【事業目的】** ◎チップボイラ導入時の事業性調査支援  
 ○最適な熱供給システムの提案  
 ◎事例集作成  
 ○導入提案資料の蓄積
- 【事業主体】** 地域協議会(地方公共団体、林業関係団体、専門家等)
- 【事業内容】** ① チップボイラ導入提案資料作成・提案  
 3件×1,000千円/件×3年=9,000千円  
 ② 事例集、簡易指標作成 1,000千円
- 【事業期間】** 3年間
- 【総事業費】** 10,000千円(平成26年度事業費 3,000千円)

## 3 効果

### ◇森林所有者・林業関係者

- ・ チップ材販路拡大による収入増
- ・ 安定的な林業経営

### ◇温熱施設事業者

- ・ 燃料費軽減
- ・ エネルギーセキュリティの向上

### ◇県民

- ・ CO<sub>2</sub>排出抑制による環境負荷軽減
- ・ 森林の健全化
- ・ バイオマス生産、運搬等継続的な雇用創出

- ・ 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり
- ・ 低炭素で循環型の地域社会づくり

(しあわせ信州創造プラン)